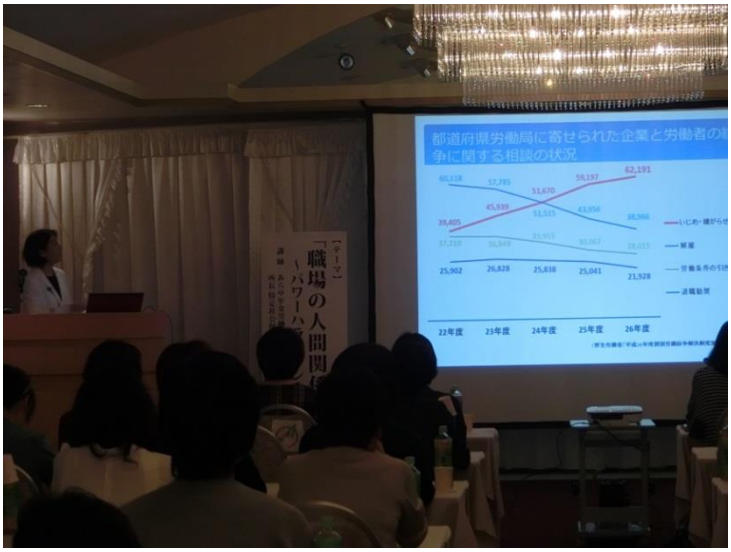
# さんSUNひろば　VOL. 7

北海道看護協会　札幌第３支部

## 働き続ける職場づくり推進委員会



平成 28 年９月 24 日（土）新さっぽろアークシティホテルにて、研修会を行いました。
特定社会保険労務士の荒屋理恵講師をお招きし、「職場の人間関係（パワーハラスメント等）」についてご講演頂き、75 名が受講されました。
様々なハラスメントを取り巻く昨今の状況、ハラスメント問題の解決手段、どのようなリーダーであればいいか、グループディスカッションも交えながらとても内容の詰まった研修会となりました。
アンケート結果でも、受講者のほとんどの方が「今後に役立つ内容のものであった」と答えており、今後も、働きやすい職場作りのお手伝いができるよう委員一同頑張っていきたいと思っています。

働き続けられる職場作り推進委員
委員長　佐々木真理

医療現場では、患者対応など対人関係において感情労働の側面が強く、さらに緊張度が極めて高いストレスフルな労働環境では、ハラスメント問題が発生しやすく、誰もが加害者、被害者になりうる状況であることを改めて認識しました。ハラスメント問題を早い段階から対処できる職場環境が必要となっており講師は「人を敬う気持ちを持つことで人間関係が変化する」と話されていました。また、パワーハラスメントの事例から、どこに問題点があるのか意見交換が行われ、自分自身を見つめ直す良い機会になったと思います。
みなさんお疲れ様でした。

# 「看護過程と看護記録」

平成 28 年 10 月 13 日～14 日、北海道看護協会において「看護過程と看護記録」についての研修会が行われ、43 名の方が参加されました。1 日目は看護の動向について札幌第三支部長の大橋　由美子講師より、「看護過程と看護記録」については北海道大学病院　高橋久美子講師より講義が行われました。

翌日はグループワークで各５～６名で
８グループで行われました。
助言者として
北海道大学病院　高橋久美子氏、
勤医協札幌病院　下川部　幸恵氏、
札幌徳洲会病院　木村　乃里子氏、
札幌北楡病院　乾　結氏、
北海道がんセンター　奥山　麻美氏、
石橋胃腸科病院　川口　陽子氏、
柏葉脳神経外科病院　小西　香氏、
北海道整形外科記念病院　渡邊　千里氏
の　８名の方が担当しました。

各グループで各自が立案した事例の看護計画を発表し、それぞれに対し疑問やとらえ方の違いで様々な意見交換が活発の行われ、より良い看護への思いが伝わっていました。

一人一人の患者さんに家族を含めた関りを持つためのいろいろな考えや方法があること、看護記録の変化に応じ、日々多くの意見交換や計画の見直しが大事であることが、再確認でき、今後の看護に役立つ研修だったのではないかと思いました。

研修に参加された方、講師や助言者の方々、大変ご苦労様でした。

# 看護師職能研修

今回、老人看護専門看護師の山下いずみ先生をお招きし、“認知症のコミュニケーションについて”と言うテーマでご講演いただきました。
参加人数が100人予定でしたが140人の参加希望があり、悪天候のため 107 人の参加となりました。
講演では、認知症の基本知識から特徴を捉えたケアや、コミュニケーション技法について
分かりやすく指導して頂きました。

今回の講演により参加された皆様には、高齢社会の現状を再認識し、認知症に対する理解を深め看護の向上に役立てることが出来たのではと感じました。

看護師職能委員長　　中山　順子

Ｈ２８年１１月５日（土）
新札幌アークシティホテルにおいて、
「認知症のコミュニケーション」の題材で研修が行われました。
講師は、江別市立病院老人看護専門看護師、山下いずみ先生で参加者は１０７名でした。
研修内容は、日本の高齢社会の現状、認知症の基礎知識、認知症の種類とケアの特徴、認知症のコミュケーション、高齢者の意思を支える、超高齢者の治療とケアについてでした。
今後、高齢化社会に伴って認知症の方も増えてきます。認知症になっても、寝たきりになっても、人として尊重するかかわりを持つ、そのために認知症高齢者に届く、伝わるコミュニケーションを行うことの大切さを学んだ研修会でした。

編集後記
今年も気づくと残りわずかとなりました。掃除をしながら今年のあれこれを思い出し、また年末年始の準備など、何かと忙しい今日この頃です。
来年は「酉年」です。酉（トリ）を「取り込むに因んで、幸せの運気をたくさん取り込めますように･･･と願うのでした。皆様よいお年をお迎えください。

広報委員　N．O